

ライディングコーチ ミナキのお勧めのオイル 「パノリンオイル」



RSレーシングとパノリンオイルとの出会いは、2008年から2009年だったと思います。現在は全日本JSBクラス参戦中の岡村光矩選手を始め、レベルの高いチーム員が増え、新しいチャレンジをしようと思っている時に問屋の高橋商事さんから紹介されたのを覚えてますね。しかしレースに使うエンジンの消耗は街乗りに比べ10倍以上と言ってもらいます。

聞いたこともないスイスのオイルをすぐに使うわけにはいきませんでした。しかしメーカーの生い立ちや特殊な生成法を熱心に説明するメーカー担当者の「とにかく一度試してみてくれ」という熱意に、とりあえずテストしてみようという気になりました(実は恐る恐ると言っただけの本心ですが・笑)。そしてその結果にビックリ!!

エンジンはよく回るし、連続走行でもシフトタッチがまるで変わらないのです。特に驚いたのがそのライフ(寿命)!! 一般的なレーシングオイルでもフィリングがいいのは2000~3000kmなのですが、パノリンは、4000km乗っても5000km乗っても何も変わらない。(怖いのでそのあたりで交換しましたが・笑)。

エンジンをOHしても全く問題がなかったため、次のシーズンからチーム全車に使う事に決めました。そこから10年近くパノリンオイル共に、九州選手権では何度もチャンピオンを獲得し、鈴鹿8耐でも2015年2016年と完走を果たしました。

そして驚きなのがここまで、オイルに関係するトラブルが一度もないのです。よく言われるスペンシャル品ではなく僕らが使用するオイルも全くの市販オイルですからね・・・。

熱に強いと言っただけのオイルの売りで、だからこそ劣化せずライフが長いのですが、それでいて固くないのです。熱に強く固くない!これは従来のオイルの常識にはないものです。生成法に秘密があり全てのパノリンオイルはその生成法で作られています。長くなるのでここではやめておきますが・・・笑。

とにかくライディングコーチミナキのお勧めのオイルです!



現JSB1000ライダーの岡村光矩選手は、600ccデビュー時はRSRに所属しパノリンオイルと共に成長してきた。